

特色ある学校づくりに係る資料（平成30年度）

学番	特3	学校名	県立長岡聾学校	校長氏名	小川 司
----	----	-----	---------	------	------

I 校長として目指している学校像

子ども、保護者、地域、関係機関から「頼りにされる学校」でありたい。

- 一人一人の子どもの力を高める確かな教育実践を行う学校
- 聴覚障害教育や知的障害教育に関する高い専門性をもつ学校
- 保護者や地域、医療・福祉・労働等の関係機関と連携した取組を進める学校
- 地域における特別支援教育のセンター的機能を担う学校

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、根気強く指導・支援に努める教師
- 特別支援教育の専門性をしっかり受け止め、研修や実践に積極的に取り組む教師
- 教職員同士や保護者、関係機関との連携を図り、協働して取り組むことができる教師
- コミュニケーション能力が豊かで、自主性、人間性に富む教師

III 学校経営の重点

以下の3点を重点として学校経営を行い、活躍する子どもと教職員の姿を積極的に地域へ発信する一年にする。

1 多様な障害に対応した確かな教育実践

- 学びの保障「学ぶ楽しさ、分かる喜び、できる喜び」を目指す授業改善
- 学習指導要領への対応、手話普及条例の取組、専門性向上、研修の充実

2 地域や関係機関と連携した教育の実践

- 現場実習、就労・進学等、進路指導の充実
- WinWinの関係づくり（園校等との交流、資源活用と地域貢献）

3 地域における特別支援教育のセンター的機能の充実

- 乳幼児教室、教育相談・支援の充実
- 学校参観やオープンスクール
- 手話普及条例の取組、研修会場の提供等
- 地域のニーズをリサーチし、戦略を考え、地域を動かす
- NPO事業、福祉、医療、大学等との連携、ネットワークづくり